

第84回 俳句を楽しむ会「かわせみ会」会報

- 1 開催日 2025年 6月26日13:00～ 第5木曜日
大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ
- 2 参加人数 ・男性8名 ・女性2名 ・投句1冊 11名
- 3 今回の季語 六月(水無月)の季語全般 (季語重なりがないこと！)
- 4 選句の結果 *写真をみて一句！を試行してみる。



”傘色々”《小松市陶芸

*写真で一句
兼題:紫陽花

- ・半夏生草沼地に白く群れ集い
- ・走り梅雨軒下借りて羽繕い
- ・梅雨ばしり色とりどりの傘の列
- ・*大輪の紫陽花に雨煌めきて
- ・千枚田棚田に青き夜が充つる
- ・雨粒の雫れを止め蓮浮葉
- ・あけびの子熟し割れる日まだ
- ・*奥山の御堂に続く紫陽花路
- ・探し求め短夜膳に古古米が
- ・藁束をたつぷり敷いて茄子の花
- ・万緑に濃淡ありて陽に映える
- ・中休み梅雨の晴れ間は木々緑し
- ・*紫陽花を濡らして庭に小雨降り
- ・*紫陽花に見とれる少女肩に雨
- ・*道沿いに紫陽花咲きて家飾
- ・*紫陽花や川面に写る色模様



5 講評・添削 披講担当: 園田 さん

1) 語彙・表現良い句、見直すことでより良い表現へ

- ・半夏生沼地に白く群れ集い
↳ 植物としての表現の場合は”草”を最後に付け”半夏生草”
・時節としての表現としては、”半夏生”で良い！
- ・草のさきしたたり落ちる梅雨出水
↳ ”出水”は大水を表現しているため不似合い



・猪目窓に匂いまで見ゆ半夏生草

京都府宇治田原町

*丸窓の例:鎌倉あじさい寺で有名な明月院



正寿院(風鈴寺)
[ハート/猪の目の形]



2) 季語無・当該季外れ?!・季語重なり!! + 季語色

- ・雨に濡れ映える色合い手まり花 ⇨ 手毬花
↳ 紫陽花ではない! <テマリバナ>
- ・中休み梅雨の晴れ間は木々緑し
↳ ダブリ



選外句

- ・物陰にドクダミの花ひっそりと
- ・妻入院料理し食事一人夏
- ・草のさきしたたり落ちる梅雨出水
- ・薫風や憩ふ池畔の松林
- ・猪目窓に匂いまで見ゆ半夏生草
- ・降り続く梅雨空見上げ思案中
- ・椅子にかけ薄暑の中詠句する
- ・母と見し仄かなあかり蚊帳に舞う
- ・緑さず漂よう風の登山道
- ・雨止みて一吹き風で梅雨しぶき
- ・気は急いて朝顔植えて孫娘を待つ
- ・走り梅雨名前沁みたる封を切る
- ・* 雨に濡れ映える色合い手まり花
- ・* 雫面に映るあちさみ万華鏡
- ・* 大輪のあちさみ重さ持て余まし
- ・* 額紫陽花一輪見みて祝傘寿

6 次回(#85)開催日 2025年 7月24日 13:00～(15:00) 第4木曜日

兼題: 七月(文月)の季語全般

写真で一句 : 夜店

歳時記を参考に!

大阪工場内 ゆうゆう会館ニテ

注1) 季語の無い句や季語重なりがないこと!

注2) ”五七五”の17音(文字)を満足すること!

